

この度、オランダ フローニンゲン大学 Wesley R. Browne 教授をお招きした研究講演会を開催します。Browne 教授は、2016 年ノーベル化学賞を受賞した Ben L. Feringa 教授の共同研究者であり後継者です。電気化学を背景にした分子スイッチの研究を中心に電気化学反応解析、酸化触媒、ラマン分光の分野にも広く研究領域を広げられています。光応答材料の分野では世界を代表する研究者であり、Feringa 教授と共著で“分子スイッチ(Molecular Switches)”の本を Wiley 社から出版されている他 Nature, JACS, Angew. Chem. 等に数多くの論文を発表しておられます。

この度、来日に際して東京と関西で講演をされます。関西では、京都大学、大阪大学と龍谷大学で講演会が行われます。龍谷大学では Feringa 教授との共同研究から独自の研究を進展された、電気化学的分子スイッチの研究の一部を講演して頂きます。

折角の機会ですので、ぜひ、ご参加ください。

文責 龍谷大学理工学部物質化学科 内田欣吾



日時：7月24日（月） 15：20－16：50（講演約1時間、質疑応答約30分）

場所：龍谷大学瀬田キャンパス1号館107号室

演題：**Photo- and Electrochemical Molecular Switching: Mechanisms and the non-innocence of spectroscopic techniques**

その他：講演は英語で行われます。

Wesley R. Browne 教授 HP：

<http://www.rug.nl/research/molecular-inorganic-chemistry/browne/>

理工学アクセス：http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_seta.html